海外に行く方へ

もってますか？

風しんの感染予防に抗体を忘れずに！

抗体をもっているか確認するには	予防接種歴を母子健康手帳などで確認（手帳） 抗体検査
抗体をもっていないなら	予防接種を検討

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

風しんについて 厚労省　検索

詳細はこちら▶
厚生労働省 風しんについて

海外に行く方で、風しん抗体をもっていることが明らかでない場合

世界には風しんが流行している国・地域があります。

海外に行く前に　風しんの予防接種歴を母子健康手帳などで確認し、2回接種していない方は予防接種を検討してください。

帰国した後に　帰国後2週間程度は健康状態に注意しましょう。

※風しんにかかったかどうかやワクチン接種歴が不明の場合は抗体検査を検討してください。

風しんとは？

感染経路

風しんウイルスに感染した人の咳やくしゃみ、会話などで飛び散る飛沫（しぶき）を介して感染します。

症　状

【小児】
発熱や発しん、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、多くの人は数日で治ります。まれに、高熱がでたり脳炎を起こしたりして入院することがあります。

【成人】
関節の強い痛み、高熱や発しんが長く続くなど、症状が重くなることがあります。

妊娠20週までに感染すると、おなかの中の赤ちゃんにも感染し、赤ちゃんに障害が残ることがあります（先天性風しん症候群）。

予防のために

海外に行く前に、風しんの予防接種歴を母子健康手帳などで確認し、2回接種していない方は予防接種を検討して下さい。

※風しんにかかったかどうかやワクチン接種歴が不明の場合は抗体検査を検討してください。

現在、子どもに対しては、定期接種で2回麻しん風しん混合ワクチンを接種する機会（1歳児、小学校入学前1年間）があります。

※ワクチン2回の接種による風しん抗体の獲得率は約99%とされています。